

教養課程

歯科技工士が知っておきたい 診療報酬改定にまつわるエトセトラ

佐野 隆一

歯科医療における歯科技工士の重要性が示されています。令和6年度の診療報酬改定で歯科は+0.57%の改定となり、歯科修復・欠損補綴物などの製作に係る項目が引き上げられました。合わせて、光学印象（口腔内スキャナ）や歯科技工士連携加算が新設されました。

これは、昨今の物価上昇に対応し、歯科技工士も含めた医療従事者賃上げのための特例的な措置とされています。しかし、私たちがその制度や意味合いを理解していなければ、せっかくの対応も有効に活かせません。また臨床的にも、光学印象や歯科技工士連携加算でチェックするポイントは理解しておきたいところです。

ここでは診療報酬改定というのを一つの軸に、歯科技工業界で生業を立てるなら知っておきたい知識や臨床について、お話しさせていただきたいと思います。

専門課程

補綴再製作をなくして良質な補綴装置を提供する 歯科技工士の技術とコミュニケーション

佐野 隆一

「日常臨床のトラブルをなくしたい」「良質な補綴装置を提供したい」というのは多くの歯科医師、歯科技工士の方々が思っていることです。では、そのために必要なことは何でしょうか？

また、近年はデジタルデンティストリーも普及してきましたが、ラボサイドが携わると何が違うのか、ラボサイドと連携をとるには何がポイントになるのかをお互いに理解していると、補綴のクオリティは変わります。では、そのために必要なことは何でしょうか？

求められるのは歯科技工士の技術とコミュニケーションです。そこで、私自身の事例や取り組みを通じて、チェアサイドとラボサイドでどう連携をとっていくとよいのかを一緒に考えていきましょう。そして、歯科技工士という“人”が関わる意義を一緒に考えていければ幸いです。

講師略歴

佐野 隆一 Ryuichi Sano

株式会社ラボコミュニケーションズ 代表取締役



- 1999年 日本大学経済学部産業経営学科 卒業
- 2001年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 卒業
- 2001年 医療法人社団幸生 壱番館デンタルオフィス 勤務
- 2008年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 非常勤講師
- 2009年 スタディグループ D-Technications 主宰
- 2011年 ヘレウスクルツァージャパン 勤務
- 2014年 デンタルデザイン ラボコミュニケーションズ 設立
- 2015年 日本歯科技工士会 認定講師
- 2017年 株式会社ラボコミュニケーションズ 設立
- 2023年 日本歯科技工士会 次世代委員会委員長
- 2024年 日本歯科技工士会 理事

【書籍】

チェアサイドとラボサイドで共有したい

補綴再製をなくすための臨床テクニック 24

医歯薬出版株式会社

2018年6月10日 第1版第1刷発行

2022年4月10日 第1版第3刷発行

チェアサイドとラボサイドの連携が生む

質の高い補綴のための核心 24

医歯薬出版株式会社

2023年9月25日 第1版第1刷発行

